

【ご案内】

こちらは、二千二十一年十二月に開催しましたシンポジウムについての読み上げテキストファイルです。このシンポジウムは、終了しております。以下は、開催案内となります。

この度、東京大学医学のダイバーシティ教育研究センターキックオフシンポジウム 医療と医学における構成員の当事者性と専門性を開催します。

本シンポジウムは特設サイトにてオンデマンド配信をします。

視聴無料、

要申込、

字幕付きです。

配信期間は、2021年12月20日9:00から12月28日17:00です。

12月20日(月)9:00から12月28日(火)17:00の間、

いつでもインターネット上でご覧いただけます。

※視覚障害のある方へ

事前に発表スライドを、読み上げできるPDFにてお送りいたします。ご

希望の方は、symposium2021@camphor.jp にご連絡ください。

予定しているプログラムは、次の通りです。時間は目安です。

司会：笠井清登、里村嘉弘

センターご紹介 (5分)

笠井清登・里村嘉弘 (医学のダイバーシティ教育研究センター)

ご挨拶 (5分)

林香里 (東京大学理事・副学長 [国際、ダイバーシティ担当])

岡部繁男 (東京大学大学院医学系研究科長)

シンポジウム① 医学教育と医療の共同創造

医学教育と臨床研修のバリアフリーに向けた国内外の動向と課題 (20分)

熊谷晋一郎 (東京大学バリアフリー支援室長)

医療におけるピアサポーターの意義 (20分)

宮本有紀 (東京大学大学院医学系研究科精神看護学分野准教授)

シンポジウム② 学ぶ権利と情報保障

障害の社会モデルを踏まえた教育のパラダイムシフト (20分)

星加良司 (東京大学大学院教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター准教授)実践現場に学ぶ 医学教育における情報保障と支援者育成 (20分)

白澤 麻弓（筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター准教授）

シンポジウム③ 研究の共同創造

研究におけるユーザーリサーチャーの意義（20分）

綾屋 紗月（東京大学先端科学技術研究センター特任講師）

障害の社会モデルの基礎脳科学研究への導入（20分）

柳下 祥（東京大学大学院医学系研究科構造生理学講師）

申込方法についてです。

申込締切は2021年12月15日（水）17時です。

シンポジウムに参加をご希望の方は、次のフォームよりお申込ください。後日、参加に関する守秘義務同意のご案内をお送りします。（申込だけではご視聴いただけません）

<https://forms.gle/LeTNsYb89NFPCpwg8>

主催

東京大学大学院医学系研究科・医学のダイバーシティ教育研究センター

共催

文部科学省課題解決型高度医療人材養成プログラム事業

文部科学省 新学術領域 思春期主体価値

文部科学省 学術変革領域 当事者化行動科学

本シンポジウムに関するお問い合わせ

symposium2021@camphor.jp

東京大学大学院医学系研究科附属

医学のダイバーシティ教育研究センター

<https://cdmer.jp/>

●医学のダイバーシティ教育研究センターに関するお問い合わせ

diversity-center-office@m.u-tokyo.ac.jp